

電話リレーサービスは こんなときに便利！

24時間365日、双方向で電話することができます。
緊急通報にも対応、時間を選ばずいつでも連絡を取り合うことができます。



緊急通報

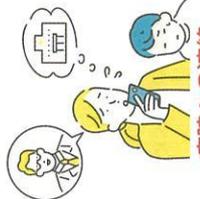
事故など不測の事態や災害発生などの緊急時にも、「110（警察）」「119（消防）」「118（海上保安本部）」への発信に対応しています。

急な予定変更など、取引先や同僚に急いで連絡を取りたいときにも、第三者に伝言を頼むといったこともなく迅速に自分で電話で伝えることができます。



仕事のやりとり

あらかじめ診療予約が必要な病院や、予約の変更をしたいときにも、また、受診前に病状を説明する必要がある際、しっかりと伝えることができます。



病院への連絡

特別なケースだけでなく、家族や親しい友人との気軽な日常会話を楽しむためにも、遠く離れた距離でも身近に感じられるのは、電話ならではの魅力です。



家族や友人との会話

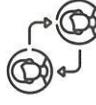
公共インフラになり新たに可能となる機能

24時間・365日でのサービス対応



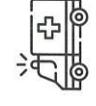
かけたいときにいつでも通話ができる。

双方向でスムーズな会話を實現



きこえる人からも、聴覚障害者等からも通話ができる。

緊急通報（110番等）への接続を實現



災害時や緊急時の人命に関わる連絡ができる。

電話リレーサービスの仕組み

公共インフラとしての電話リレーサービスは、法に基づき指定された電話リレーサービス提供機関が提供します。その提供に必要な費用は、電話提供事業者からの負担金を原資とする交付金で成り立つものです。交付金の交付や負担金の徴収業務は同じく法に基づき指定された電話リレーサービス支援機関が行います。



よくあるご質問

- (Q) 電話リレーサービスによる電話の相手方になるきこえる人も登録が必要ですか？
(A) きこえる人は登録は必要ありません。きこえる人が現在ご利用の電話番号で、電話リレーサービスの利用者への受発信が可能です。
- (Q) 目の前にいる相手に用件を伝えるのに、電話リレーサービスを利用できますか？
(A) できません。離れたところにいる相手と通話するときのみご利用いただけます。
- (Q) 電話リレーサービスのかけ先に制限はありますか？
(A) 本サービスは、日本国内における通話のみご利用いただけます。0570番号などかけることのできない番号があります。
- (Q) 通訳オペレータを指名することはできますか？
(A) できません。どの通訳オペレータでも一律のサービスの提供となります。
- (Q) 通訳オペレータに用件を伝えて、後日結果のみを知らせてもらうことはできますか？
(A) 通訳オペレータは会話をそのまま通訳します。用件を預かり、代わりに質問や交渉して連絡調整した結果だけを伝えるような使い方はできません。
- (Q) 文字通訳の履歴を記録として利用することはできますか？
(A) いかなる場合でも、文字・映像データを記録として利用することはできません。
- (Q) 法人でも契約はできますか？
(A) はい、月額料ありのプランのみ、登録可能です。

総務大臣指定 電話リレーサービス提供機関 一般財団法人日本財団電話リレーサービス

■ 代表、広報関連のお問い合わせ

TEL：03-6275-0910 e-mail：info@nftrs.or.jp

■ サービスへのご意見、ご質問、ご利用、利用登録、お客様サポートのお問い合わせ

TEL：03-6275-0912

【共通】 FAX：03-6275-0913 WEB：https://nftrs.or.jp/

【メールでのお問い合わせ】

ホームページのお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

【手話・文字チャットでのお問い合わせ】 ホームページにて窓口をご利用しております。



もっと知りたい！ 電話リレーサービス について

通訳オペレータ

電話の相手先
音声で電話

通訳オペレータ

手話や文字と音声を通訳

聴覚障害者や発話に困難がある方

手話や文字で電話

手話・文字と音声の通訳で、通話を実現

電話リレーサービスは、聴覚障害者や発話に困難のある方も電話でコミュニケーションができる、法律に基づいた公共インフラです。詳しい内容や、登録方法、使い方などをご紹介します。

